

Q 新介護認定方式は改めるべきでは
A 不都合があれば要望



伊藤 好晴議員

介護保険制度の新介護認定方式は、従来より軽度判定される方があります。リハビリなどに力を注いでも、身体状況などの改善が望めないのが現状であり、新しい認定方式は、介護度を低くして保険を使わせない方向に作用していると考えられます。

これを撤回して、利用者の立場に立った保険制度に転換するよう、国へ求めるべきでは。

山崎 英樹町長
軽度判定された方はおよそ20%で、重度判定された方は30%です。

今後も検証結果を注視し、現場の声を聞きながら不都合があれば、国に要望します。

Q 子供の医療費は無料に
A 親としての責任で負担を

伊藤議員

乳幼児等医療費助成制度が中学校卒業までに拡充されたことは有意義です。

子育て世代の要望は完全無料化であり、子育てを支援して少子化に歯止めを掛ける一助にする考えは。

山崎町長

4月から、小・中学生の通院は月額1,000円以上、入院は2,000円以上については町が負担するよう、制度の拡充をしました。

無料化の意見も承知していますが、親の責任としてこれを負担してください。



ポピー祭りのイベントで

Q 医療費の委任払い制度導入を
A 医療機関と協議

伊藤議員

医療費はかかった金額をまず負担して、助成部分を後から返してもらおう「償還払い」の制度が導入されています。

助成があっても必要な金額は持参する必要があり、受診抑制が起きない「委任払い」の制度を導入する考えは。

山崎町長

委任払いにしたことで、早期に治療を受ける環境づくりになるなら取り入れたと思います。

医療機関に検討を指示しており、協力を得られるなら取り入れます。

6月定例会 町政を問う 一般質問

Q 地上波デジタル放送への対応は
A 進捗状況に応じてお知らせ

伊藤議員

地上波がデジタル化され、アナログテレビが映らなくなるなどの宣伝が繰り返されている中、雲南夢ネット飯南局から、今使っているテレビで視聴できる旨の文書が配布されました。

この内容について多くの方から問い合わせがあり、きちんと説明する必要があるのでは。

山崎町長

現在お使いのアナログテレビで、そのままデジタル放送を見ることが可能であり、周知しています。

デジタル化により高度なサービスを提供し、負担は抑える方式を検討しています。

進捗状況に応じて周知に努めます。

Q 町は非核宣言を
A 現在は検討中

伊藤議員

本町には被爆者手帳をお持ちの方が50人近くあり、唯一の被爆国の自治体として非核宣言をすべきでは。

山崎町長

非核平和は宣言をしないに関わらず、世界の恒久平和を強く願っており、異論はありません。

宣言するに当たり、魂のある具体的な行動を考えており、もう少し研究します。

Q スクールサポーターの待遇改善を
A 県と町が定めた条件で配置

伊藤議員

スクールサポーターには、県事業と町単独事業があり、同じ業務に従事しながら賃金に差があります。さらに県から派遣されている先生には社会保険等の補償がありません。

同一労働、同一賃金が原則であり、県と協議して不正を正すべきでは。

安部 亘 教育長

スクールサポーターは、教員の負担を軽減し、子供たちと向き合う時間をしっかりとる目的で配置しました。10名のうち2名が県費

で、8名が町単独での配置です。

県は教員免許を有し、定められた勤務条件の中で勤務し、町は免許の有無は問わず、財政状況や他の臨時職員等を勘案し給料を定めています。

社会保険への加入は、県費2名は5時間勤務で、その後3時間町費で勤務しており、対象となりません。



STB(セット・トップ・ボックス)を設置してデジタル放送が視聴できます。



小さな児童を挟んで安全登校をしています(頓原小学校)